

切花アジサイの延命剤による日持ち延長効果

令和7年3月
さいたまの花普及促進協議会

1 目的

流通業界の時間外労働上限規制から花き輸送期間が今までより延長した場合、最も影響が大きいものは、春～秋に出荷される切花である

アジサイは、段ボール箱による乾式輸送であり、水揚げが不良になりやすい

アジサイの延命剤による鮮度保持技術は確立されていない

そこで、主成分が異なる3種の延命剤の日持ち向上効果を確認する

2 試験方法

材料

①季咲きのアジサイ

- ・県内主要産地である小鹿野町両神で栽培の秩父四季咲き系統
- ・6月中旬に収穫

②秋色アジサイ^{注)}

- ・当センターで栽培している「アナベル」
- ・緑色の花色となる、7月上旬に収穫

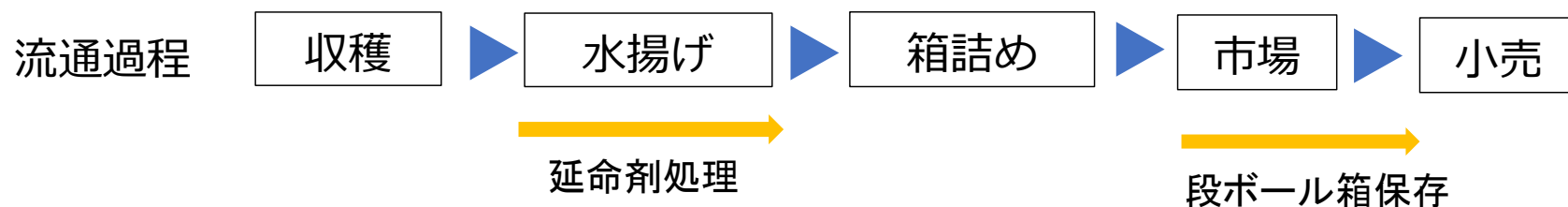
注) 秋色アジサイとして近年販売されているものは、小花の開花が終わりがく片が緑色や赤色を示すステージのもの

方法

アジサイは、収穫後に水揚げし、段ボールに箱詰めして出荷する

水揚げ時に延命剤へ24時間浸漬し、トラック輸送を想定して出荷用段ボール箱で24時間保存した後に、水に生けて日持ちを調査

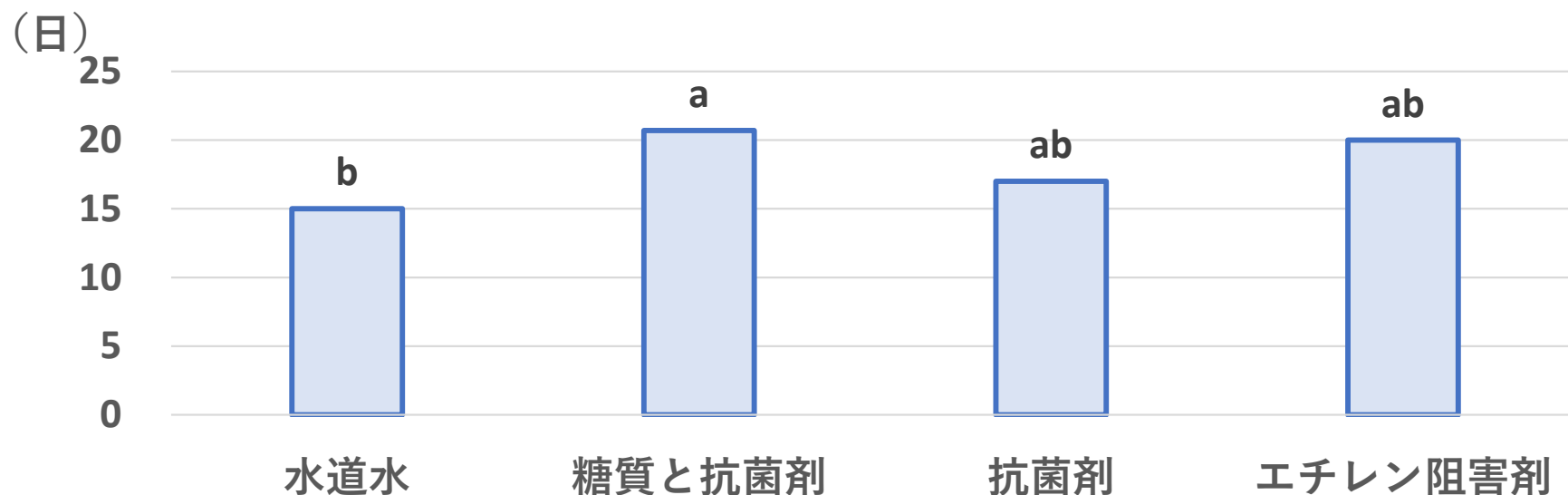
延命剤は、糖質と抗菌剤、抗菌剤、エチレン阻害剤を主成分とする3種類を比較



- ・段ボール箱での保存期間は気温10℃暗黒条件、その他は気温28℃、12時間照明(照度:2,500lux)で実施
- ・花序全体の半数以上のがく片が萎凋した日を日持ち終了とする

3 試験結果

① 季咲きのアジサイ（秩父四季咲き系統）



※異なるアルファベット間には、5%水準で有意差あり

生けて14日後

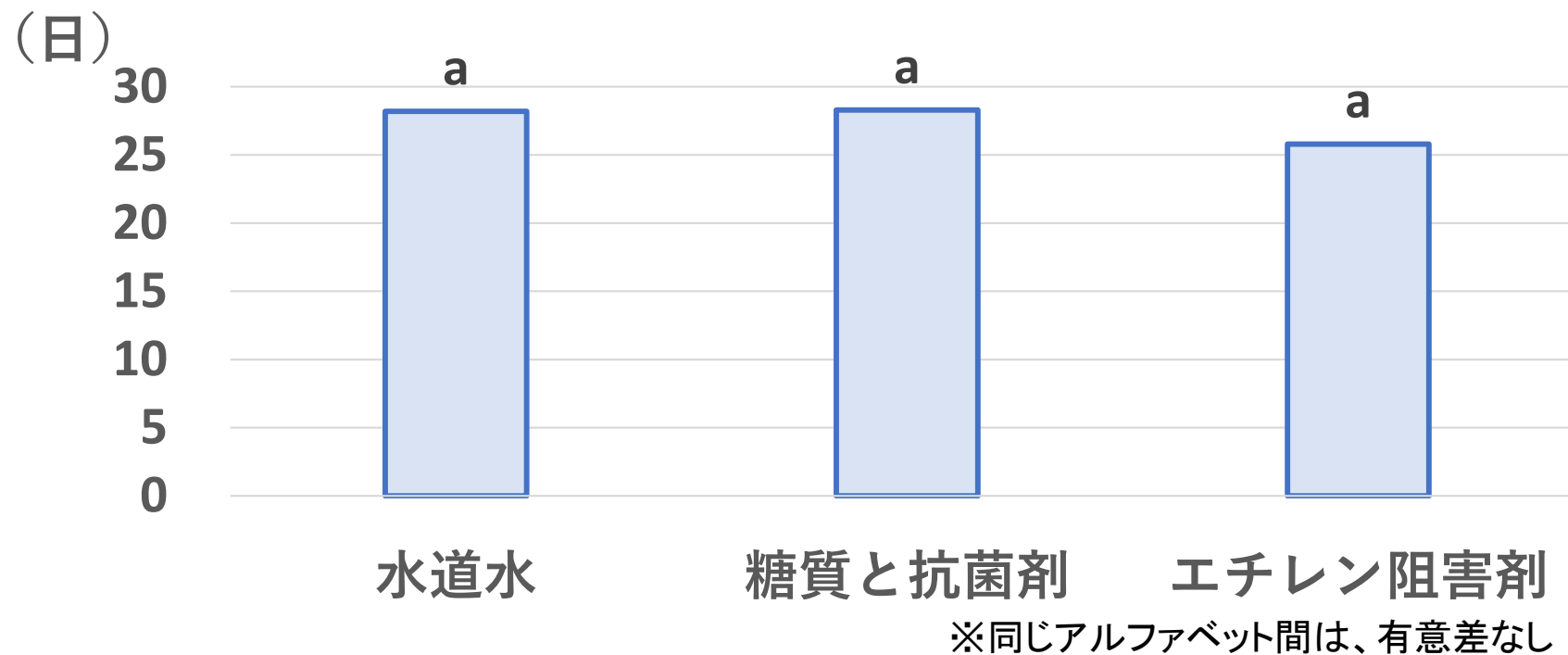


水道水

糖質と抗菌剤

糖質と抗菌剤を主成分とする延命剤により、水道水よりも日持ちが6日間延長した

②秋色アジサイ（‘アナベル’）



生けて14日後



水道水 糖質と抗菌剤 エチレン阻害剤

季咲きのアジサイよりも日持ちは長いですが、延命剤の効果はなかった

4 まとめ

- ・糖質と抗菌剤を主成分とする延命剤は、秩父四季咲き系統の日持ち延長に最も効果があった
- ・一方、‘アナベル’を用いた秋色アジサイでは延命剤の効果は見られなかった

実施機関 さいたまの花普及促進協議会
協力機関等 埼玉県農業技術研究センター

本マニュアルは農林水産省「ジャパンフラワープロジェクト強化推進」で実施した実証事業により作成しました。

発行者 さいたまの花普及促進協議会
〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9埼玉県農林会館
TEL:048-711-7166